

2023年12月18日

日鉄エンジニアリング株式会社

ニュースリリース

## 森ビル「麻布台ヒルズ」に 座屈拘束ブレース「アンボンドブレース®」1300基超が採用

日鉄エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：石俣 行人、本社：東京都品川区、以下「当社」）の座屈拘束ブレース「[アンボンドブレース®](#)」\*（以下「UBB」）が、2023年11月24日(金)に開業した「麻布台ヒルズ」（以下「本プロジェクト」）に1300基を超える規模で採用されましたのでお知らせいたします。

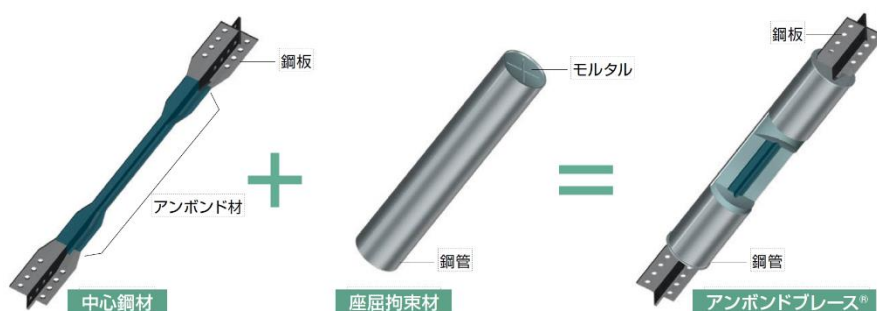
本プロジェクトは森ビル株式会社（代表取締役社長：辻 慎吾、本社：東京都港区）などが、約8.1haの敷地に超高層建物3棟、中層建物3棟を建設した大規模な再開発事業です。UBBは超高層建物の「森JPタワー」及び中層建物の「ガーデンプラザA, B, D棟」の制振装置として採用されました。

そのうち「森JPタワー」は高さ約330mを有し国内最高の高さを更新した超高層建物であり、数多くの载荷試験を通じて性能が確認され、厳格に品質管理されたUBBの信頼性を高く評価いただき、1200基ものUBBが設置されています。

当社は、今後も鋼構造エンジニアリング力と鉄の知見を活かし、優れた性能を有する耐震・制振・免震装置を提供することで、災害に強い強靱（レジリエント）な社会・安心して住み続けられる街づくりを通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

※ アンボンドブレース®は日鉄エンジニアリングの登録商標です。UBBはUnbonded Braceの略称。

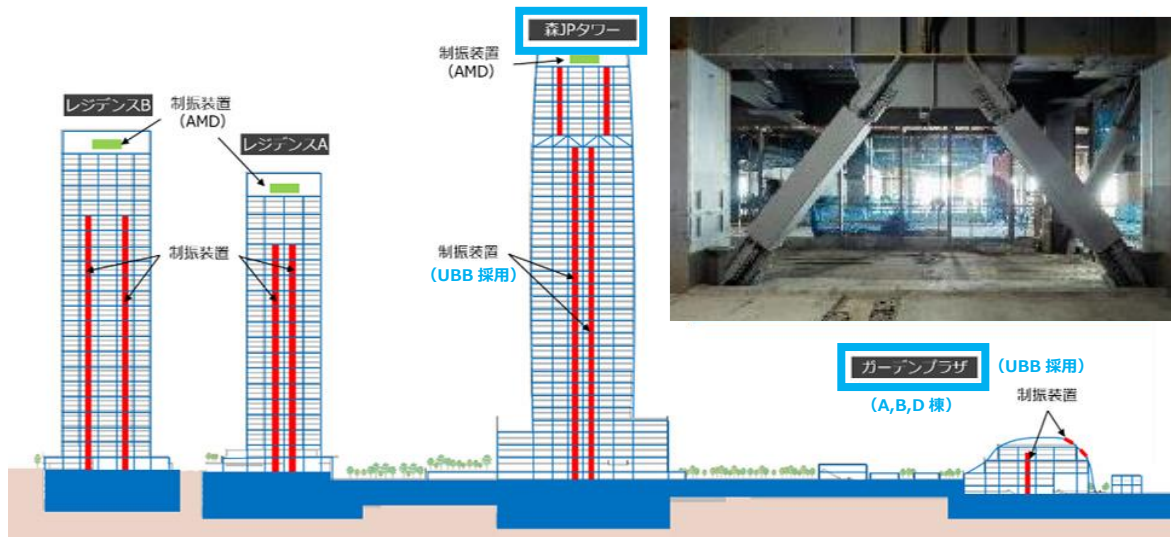
UBBは、地震の揺れから建物を守る建築部材で主に建物の筋交い材に用いられ、軸力を負担する中心鋼材（鋼板）をモルタルと鋼管で拘束した座屈拘束ブレースです。中心鋼材とモルタルとの間に特殊な緩衝材（アンボンド材）を介在させることで、モルタルと鋼管（座屈拘束材）は軸力を負担せず、引張・圧縮ともに同性状の安定した力学的特性を有する耐震ブレース・制振ダンパーであり、1988年以来国内外で累計販売実績は約15万基に達しています。



【UBB 構造図】



【「麻布台ヒルズ」全景】



【「麻布台ヒルズ」各建物の制振装置】

【お問い合わせ先】

サステナビリティ・広報部 広報室 : 03-6665-2366

URL : <https://www.eng.nipponsteel.com/contact/index.html>

以上